



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月30日

上場会社名 NCS&A株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9709 URL <https://ncsa.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 辻 隆博
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員常務 経営戦略室長 (氏名) 小林 裕明 (TEL) (06) 6443-1804
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	5,315	5.9	697	16.0	732	15.2	478	11.5
2026年3月期第1四半期	5,019	4.0	601	31.4	635	32.8	429	42.8

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 581百万円(26.3%) 2026年3月期第1四半期 460百万円(24.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	31.98	—
2026年3月期第1四半期	26.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	21,669	13,633	62.9
2026年3月期	21,391	13,866	64.8

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 13,633百万円 2026年3月期 13,866百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	25.00	—	33.00	58.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	25.00	—	33.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	20,500	△8.8	2,620	△3.5	2,750	△4.2	1,830	△11.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	18,000,000株	2026年3月期	18,000,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	3,113,483株	2026年3月期	2,888,283株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	14,966,183株	2026年3月期1Q	16,181,447株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中で緩やかに回復しているものの、中東情勢の影響を受けた原油価格の高騰や金融資本市場の変動に対する警戒感が高まっており、依然として先行き是不透明な状況が続いております。

当社グループの事業領域である情報サービス産業におきましては、大企業だけでなく中堅・中小企業においてもA Iの利活用をはじめとしたデジタルトランスフォーメーション(D X)の取り組みが広がっており、幅広い産業分野・規模にわたり企業のI T投資は増加し、市場環境は堅調に推移しております。しかしながら、A I市場の世界的な需要拡大を背景に、一般向けのメモリの生産が抑制され、サーバおよびパソコン機器の供給不足と価格高騰が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、「稼ぐ力の強化」、「人材への積極投資」および「企業価値の向上」を基本方針に、外部要因の変化に、より大きな影響を受けることのないように、自立し、世の中から必要とされる企業を目指し事業に取り組んでおります。

社内スタートアップ制度(研究開発を通して新しい事業の芽を創出する活動)を活用し、自社製品によるソリューションのバージョンアップに取り組んでおります。機能強化を実施した家賃債務保証基幹システム「G u r a s(グラス)」、介護福祉レンタルシステム「T h e S W A T(ザ・スワット)」、給付金システム「T h e 給付」については、いずれも案件数が堅調に推移いたしました。また、新技術の調査研究や、信頼できる相手と互いにリスクを取った協業ビジネスも進めております。

生成A Iにつきましては、継続して研究を進めており、ゼロトラスト(すべてのアクセスを信頼しない)を用いたセキュリティ強化を進め、全ての従業員が憂いなくA Iを使える環境を構築し、利用拡大を図っております。

加えて、従業員が生き生きと活躍できる環境の構築を継続して推進しており、2026年6月より平均5%の給与水準の引き上げを実施しました。この結果、4年連続で4.5%以上の給与水準の引き上げを継続しております。また、社会貢献活動として清掃活動を継続的に実施しており、当第1四半期においては東京・名古屋・大阪の各拠点にて実施いたしました。

A I市場の世界的な需要拡大を背景とした、サーバおよびパソコン機器の供給不足と価格高騰については、当年度の重要な課題ですが、入荷が確定していた受注残や在庫の活用等および自社製品によるソリューションの強化などにより、当第1四半期連結累計期間は、この課題を概ね吸収することができました。引き続き、サーバおよびパソコン機器の供給状況を注視するとともに、自社製品によるソリューションの強化などを推進してまいります。

当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は、前年同四半期に比べ2億96百万円増収の53億15百万円となりました。利益面につきましては、利益率の高い自社製品によるソリューション及び高収益案件への注力を続けることにより営業利益は前年同四半期に比べ96百万円増加の6億97百万円、経常利益は前年同四半期に比べ96百万円増加の7億32百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期に比べ49百万円増加の4億78百万円となりました。

当社グループは、ITサービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの経営成績の記載を省略しております。なお、売上分類別の概況は次のとおりです。

<自社製品によるソリューション>

2025年10月にリリースした介護福祉レンタルシステム「T h e S W A T(ザ・スワット)」や家賃債務保証基幹システム「G u r a s(グラス)」の導入件数が伸びました。また、マイグレーションサービスにおけるセンター化により複数の案件を順調に進めることができました。その結果、自社製品によるソリューションの売上高は前年同四半期に比べ61百万円増収の16億22百万円となりました。

<システムインテグレーション>

ホテル・外食業向けシステム開発・機器販売などの売上が順調に推移しました。また、中堅・中小マーケットにおけるシステム開発やカスタマイズ案件が堅調に推移しました。その結果、システムインテグレーションの売上高は前年同四半期に比べ2億74百万円増収の20億23百万円となりました。

<機器・パッケージ>

コンピュータ機器及び周辺機器、パッケージソフトウェア等の売上のうち、他の開発・サービスを伴わない機器・パッケージ単体の販売による売上高は、前年同四半期に比べ19百万円増収の4億48百万円となりました。

<受託開発>

大手SIerからの受託開発につきましては、引き続き当社の得意分野にリソースを集中させることによる収益性の向上に取り組んでおります。一部領域の縮小などにより、受託開発の売上高は前年同四半期に比べ58百万円減収の12億21百万円となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は216億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億78百万円増加いたしました。流動資産は167億81百万円となり、27百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金の増加(13億58百万円)、受取手形、売掛金及び契約資産の減少(11億84百万円)、商品の減少(89百万円)であります。固定資産は48億88百万円となり、2億50百万円増加いたしました。主な要因は、投資有価証券の増加(1億49百万円)、繰延税金資産の増加(76百万円)であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は80億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億10百万円増加いたしました。流動負債は58億71百万円となり、4億98百万円増加いたしました。主な要因は、未払費用の増加(18億45百万円)、その他に含まれる契約負債の増加(2億98百万円)、賞与引当金の減少(13億84百万円)、未払法人税等の減少(2億72百万円)であります。固定負債は21億63百万円となり、12百万円増加いたしました。主な要因は、長期未払金の増加(6百万円)、退職給付に係る負債の増加(5百万円)であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は136億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億32百万円減少いたしました。主な要因は、その他有価証券評価差額金の増加(1億2百万円)、自己株式の増加(3億15百万円)であります。

なお、自己資本比率は、前連結会計年度末の64.8%から62.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では2026年5月13日に公表いたしました連結業績予想と変更はございません。

(注) 業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,014,665	12,373,478
受取手形、売掛金及び契約資産	4,948,048	3,763,233
商品	332,385	242,632
仕掛品	79,152	44,257
その他	379,438	357,486
貸倒引当金	△50	△40
流動資産合計	16,753,641	16,781,047
固定資産		
有形固定資産	428,322	424,269
無形固定資産	989,982	1,020,174
投資その他の資産		
投資有価証券	1,196,710	1,346,034
繰延税金資産	1,387,936	1,464,131
差入保証金	416,810	429,464
その他	226,602	213,229
貸倒引当金	△8,800	△8,810
投資その他の資産合計	3,219,260	3,444,049
固定資産合計	4,637,565	4,888,494
資産合計	21,391,206	21,669,542

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	537,924	430,174
リース債務	8,931	4,980
未払金	1,278,768	1,363,342
未払費用	365,461	2,211,078
未払法人税等	685,658	412,675
賞与引当金	1,950,864	565,913
役員賞与引当金	60,200	37,600
受注損失引当金	7,984	7,830
その他	477,681	838,274
流動負債合計	5,373,474	5,871,867
固定負債		
リース債務	346	86
退職給付に係る負債	2,129,312	2,134,800
長期末払金	21,970	28,839
固定負債合計	2,151,628	2,163,726
負債合計	7,525,103	8,035,593
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,775,100	3,775,100
資本剰余金	4,050,068	4,050,068
利益剰余金	7,612,607	7,592,467
自己株式	△2,288,499	△2,603,590
株主資本合計	13,149,276	12,814,046
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	517,629	619,916
為替換算調整勘定	52,334	58,450
退職給付に係る調整累計額	146,861	141,535
その他の包括利益累計額合計	716,826	819,902
純資産合計	13,866,102	13,633,948
負債純資産合計	21,391,206	21,669,542

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2026年 4 月 1 日 至 2026年 6 月30日)
売上高	5,019,134	5,315,912
売上原価	3,270,070	3,466,589
売上総利益	1,749,063	1,849,322
販売費及び一般管理費	1,148,057	1,152,305
営業利益	601,006	697,017
営業外収益		
受取利息及び配当金	20,026	24,655
未払配当金除斥益	10,136	12,041
その他	4,310	730
営業外収益合計	34,474	37,426
営業外費用		
支払利息	71	23
為替差損	-	2,012
その他	61	378
営業外費用合計	133	2,414
経常利益	635,346	732,029
税金等調整前四半期純利益	635,346	732,029
法人税、住民税及び事業税	204,162	374,264
法人税等調整額	2,052	△120,781
法人税等合計	206,214	253,482
四半期純利益	429,132	478,546
親会社株主に帰属する四半期純利益	429,132	478,546

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	429,132	478,546
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33,889	102,286
為替換算調整勘定	△7,391	6,116
退職給付に係る調整額	5,050	△5,326
その他の包括利益合計	31,548	103,076
四半期包括利益	460,680	581,623
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	460,680	581,623
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社グループはソフトウェア開発を中心とするコンピュータ関連総合会社で、コンピュータ関連機器販売及びソフトウェア開発の両面を事業分野としております。

顧客の利用目的に応じたコンピュータ機器の選定とソフトウェア開発を主とするITサービスを事業内容としており不可分の営業形態の単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年8月19日開催の取締役会決議に基づき、当第1四半期連結累計期間において、自己株式225,000株の取得を行っております。この結果、自己株式が315,090千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が2,603,590千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	68,390千円	98,207千円